

第56回東京都公園協会賞 入賞者及び入賞作品

※肩書きは令和3年3月31日現在

1 最優秀賞 1点

《実施記録及び報告部門》

(1) 海城中高地学部

「新宿区立おとめ山公園における湧水の調査・研究活動」

13年にわたり蓄積された、公園内湧水の水質調査等の貴重な記録である。その成果を、近隣住民や行政とも共有し、環境保護のための普及啓発活動につなげている点も評価される。湧水と地下水との関係、涵養域の推定など、都市における今後の湧水の保全を考えるうえで貴重な資料といえる。

2 優秀賞 4点

《論文部門》

(1) 奥平 千尋 (中央大学 理工学部 人間総合理工学科)

「新しい生活様式の基盤となるコミュニティ公園の利用とソーシャルディスタンスに関する研究」

コロナ禍における都市公園の利用状況を丹念に調査したうえで、ソーシャルディスタンスという観点から公園デザインのあり方を再検討した有意義な研究である。今後の公園計画を考えるうえで参考となる基礎的研究として評価できる。

《ボランティア・社会貢献活動部門》

(1) 南泉公園グリーンクラブ

「まちまるごとグリーンガーデン ～みんなで育てる季節の草花で町全体を緑あふれる庭に～」

ステイホーム参加という時宜を得た新しい手法を用い、テーマ型のコミュニティを醸成しつつ地域の緑化にも貢献しており、他の場所でも応用可能な有意義な取組である。

(2) NPO 法人ネイチャーリーダー江東

「都市の復元型ビオトープにおける生態系保全に関する地域NPOと専門学校との連携事例についてービオトープ計画施工管理実務演習の実施ー」

20年以上に及ぶビオトープの生態系保全の活動プログラムに、専門学校の演習を取り入れ、保全計画書を作成するなど、今後の類似活動を継続するうえで参考となる好事例といえる。

(3) 玉川上水の自然保護を考える会

「玉川上水の自然保護とホテルの復活」

ホテルの生息環境を再生するなど、地域住民が主体となり、30年以上にわたり保全活動に取り組んできた努力とその成果は評価に値する。

3 奨励賞 6点

≪論文部門≫

(1) 竹西 城太郎 (東京都北区観光ボランティアガイド)

「北区飛鳥山公園内における旧渋沢庭園の魅力・・・渋沢栄一の思いが残る庭園・・・」

(2) 前田 一步 (東京大学大学院 人文社会系研究科 社会学研究室)

「社会問題史としての都市公園史を描く ―計量テキスト分析による都市公園史研究の視点提起―」

(3) 内野 優希 (千葉大学 園芸学部 緑地環境学科)

「緑地における CSR 活動が勤務者のメンタルヘルスに与える影響」

(4) 関根 萌 (東京農業大学 地域環境科学部 造園科学科)

「公園内小施設における温熱環境の特性に関する研究 ―世田谷区内9公園を対象として―」

≪実施記録及び報告部門≫

(1) 森田 祐介 (公益財団法人 東京都慰霊協会)

「復興記念館正面怪獣像の修復」

≪ボランティア・社会貢献活動部門≫

(1) 小金井公園 樹木の会

「グリーン・アドベンチャー「この木なんの木」東・西2コース新設定」